

こんなことで困っていませんか？

「日常生活の支援が欲しい」「日中、何か活動したい」

デイサービスや障がい福祉サービス事業所への通所、ヘルパーによる家事援助や外出時の付き添い等のサービスを受けることができます。後遺症の状況によっては、障がい者手帳を取得でき、障がい福祉サービスの他に、税金や公共料金等の控除・減免等のサービスを利用することができます。

**精神障がい者保健福祉手帳**  
記憶・注意・遂行機能・社会的な行動の障がいがある方

高次脳機能障がいで取得できるのはこれ！

**療育手帳**

おおむね18歳までに受傷し、知的機能の低下が生じた方

**身体障がい者手帳**

手足の麻痺や失語、視野障がい等のある方

「医療費や経済的なことを相談したい」

医療費の負担を軽減するために自立支援医療制度や高額療養費制度等があります。また障がい年金の申請や労働者災害補償制度が受けられる場合もあります。※いずれも受給するには、いくつかの条件を満たしている必要があります。

「仕事をしたい」

ハローワークや障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター等で、就労の相談や支援を受けることができます。就労移行支援事業所等の障がい福祉サービスを利用することもできます。

年齢や障がいの程度などに応じて、使える資源や制度が異なり、申請先もさまざまです。また、高次脳機能障がいの診断がサービスを利用する際に必要になることもあります。どこに相談したらよいか迷われた場合も、下記相談窓口にご連絡ください。



《相談窓口》相談受付時間：月～金（祝日及び年末年始を除く）午前9時～午後5時30分  
※来所される場合は、事前に電話でご連絡ください。

大阪府民の方 大阪府高次脳機能障がい相談支援センター  
（大阪府障がい者自立相談支援センター身体障がい者支援課内）  
TEL:06-6692-5262 FAX:06-6692-5340

堺市民の方 堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター  
TEL:072-275-5019 FAX:072-243-0202

発行：大阪府障がい者自立相談支援センター  
所在地 〒558-0001 大阪市住吉区大領3丁目2番36号  
ホームページ：<http://www.pref.osaka.lg.jp/jiritsusodan/kojinou/index.html>  
イラスト協力：もものきょうちよ Fun Fine Art ももんひろき・Kobayashi Sayo

（令和2年3月発行）



# 高次脳機能障がい

～知ることが未来へ進む第一歩～

「見えない障がい」って、ほんま困るんやで

**記憶障がい**

予定を思い出せない  
約束を忘れてしまう  
新しいことが覚えられない

高次脳機能障がいは、病気とか事故で脳が傷ついて、うまく機能しなくなる障がいやねん。外見上わかりにくいから「見えない障がい」ってよく言われるねん。受傷前と比べたら変わってしまった部分もあるんやけど、わたしはわたしやねんで。

**注意障がい**

気が散りやすい  
ぼんやりしている  
二つのことが同時にできない



**遂行機能障がい**

段取りが悪くなる  
臨機応変な対応ができない  
要点を絞り込むことが難しい



**社会的な行動の障がい**

以前より怒りっぽい  
感情コントロールが苦手  
こだわりが強くなる  
意欲がなくなる

高次脳機能障がいやからって、全部の症状が出るわけちゃうねん、人それぞれ出方が違うから、元々の性格ちゃうの？って思われて困ってるねん。

※その他見られる症状として、失語症（話す・聞く・読む・書く・計算が難しくなる）や易疲労性（脳が疲労しすぐに疲れてしまう）、病識欠如などがあります。

**高次脳機能障がいの主な原因**

脳血管疾患……脳梗塞・脳出血・くも膜下出血  
外傷性脳損傷……交通事故、スポーツ中の事故、転落、暴行被害 など  
その他……低酸素脳症、脳炎、脳腫瘍 など

高次脳機能障がいは、「覚えられない」「忘れやすい」など認知症と症状が似ていますが、認知症のように症状が進んでいくわけではありません。多くは、リハビリテーションをしたり、環境を整えたりすることでゆるやかに改善していくと言われています。

家族や本人は、事故や病気が起こったあと、いろいろな気持ちを体験します。  
でも、どんな気持ちも大切な気持ちです。こういった過程を通して、落ちついた生活を送っている人がたくさんいます。

今までできていたことが  
できなくなってしまった。

脳を損傷しているので、再学習が必要になります。学び直しには時間がかかりますが、本人も家族もあせらずにチャレンジすることが大切です。

いろんなことが覚えられないし、  
すぐに忘れてしまう。

記憶することが難しい場合は、それをカバーする方法を見つけます。メモやスマートフォン、カレンダーなどを使い、記憶を補うことで生活がしやすくなります。

音に敏感になったのか、いろんな人の  
声が聞こえてくるようになった。

自分に必要な声や音の選択をすることが難しい状態になっています。会話している相手や今している作業に集中できていないということなので、集中できる環境調整が必要です。

すぐに怒るので、  
どう接していいのかわからない。

抑制が効かないので、ささいなことで怒ってしまうことがあります。必ず原因があります。原因を知り、対応すれば、怒ることは減ります。怒ってしまった場合は、落ち着くまでそっとしておくのもひとつの方法です。

元の自分に戻りたい、  
元の家族に戻ってほしい。

元には近付けても、元に戻るのには難しいです。それでも、今の自分(家族)も大切な存在です。今の自分(家族)を受け入れることで、見えてくるものがたくさんあります。

ふと立ち止まると社会から  
孤立している気持ちになる。

本人を一人にしたら不安だろうし、心配という気持ちから、家族は自分そっこのけで一生懸命になりすぎてしまいます。ゆっくりできる自分の時間を作ったり、相談できる相手を作ることも大切です。

仕事をしているとすぐ疲れてしまい、  
さぼっていると思われる。

易疲労性という症状で、脳が疲れやすくなっています。これは適度に休憩することで改善されますので、職場の人に理解してもらい、自分の疲労回復に合う休憩時間を設けてもらう必要があります。

中途障がいなので、元々障がいがあった訳  
じゃない。そこをわかってほしい。

高次脳機能障がいは、ある日突然、事故や病気で起こります。受傷による気持ちの変化や今まで生きてこられた経験なども背景にあることを忘れてはいけません。

